

## 群馬県JA利根沼田管内枝豆ネバリン施用試験調査報告書

日本肥糧株式会社

場所:群馬県沼田市 K様圃場

調査日:2018年7月21日

## (1) 施肥設計

慣行施肥に試験区は、ネバリン100kg/10aを施用した。慣行区には、A資材を60kg/10a施用した。

## (2) 耕種概要

エダマメ品種;中早生種「夏風香」(雪印種苗)

播種日:慣行区5月2日、試験区5月4日(直播栽培)

1畝(畝幅約80cm)2条植えて株間横45cm、縦30cm、畝間140cm、通路幅約60cm

## (3) 生育調査

試験区、慣行区ともに生育の揃った連続した5株を2か所で計10株を採取した。

採取した各区10株の主茎長(地際から主茎の生長点までの長さ)、地上部全重(茎葉および莢実重)、総莢数(1株当たりの莢数)、稔実莢数(不稔莢を除いた1株当たり莢数)、上莢数(1莢に2粒以上の充実した子実を有する1株当たりの莢数)、多粒莢数(完全莢の内3粒以上の子実を有する莢数)、上莢収量(上莢(2粒以上の莢)の1株当たりの重量)を計測して比較した。

## (4) 調査結果

各区10株の各調査項目の平均値および統計処理結果を第1表に示した。

第1表 エダマメ収穫調査結果

項目	主茎長 (cm)	地上部全重 (g)	総莢数 (個)	稔実莢数 (個)	上莢数 (個)	多粒莢数 (個)	上莢収量 (g)
試験区①	50.5	379	55.2	52.7	37.2	9.6	102.0
慣行区②	44.5	391	53.4	51.5	26.6	6.9	77.5
①/②指数	113	97	103	102	140	139	132
t検定結果	**	ND	ND	ND	**	*	**

注)統計処理 t検定の結果で、1%レベルで有意なもの\*\*、5%レベルで有意なもの\*、有意差なしのものをNDとした。

## (5) 結果および考察

- 1)ネバリンの施用により、主茎長の伸びが有意に大きくなり、地上部全体の生育が旺盛になることが認められた。
- 2)地上部全重は慣行区でやや重くなったが、茎の節部分が太くなる傾向があった。
- 3)総莢数、稔実莢数は差がなく、上莢数は試験区で明らかに多いことが認められた。
- 4)3粒以上の多粒莢数も試験区で有意に多くなった。
- 5)上莢収量も試験区で約3割程度多くなり、ネバリンの施用によって収量を高めることが認められた。
- 6)以上の結果より、「ネバリン」の施用により、地上部の生育が旺盛になり、上莢数および上莢収量を高め、収量アップに役立つことが確認できた。降雨を待ちながら調査日程を調整したが、雨が降らずに十分な収量に至らなかったが、茶豆特有の旨味を十分に味わうことができた。
- 7)根部の根粒の着生については、根が乾燥することによって根粒が脱落したが、試験区の5株平均の根粒数は155個、慣行区は122個で根粒が試験区でやや多い傾向があった。土が硬く、小石が多く、根重は10株平均で、試験区43.3g、慣行区37.8gで試験区がやや重くなる傾向があった。

(6) 添付写真



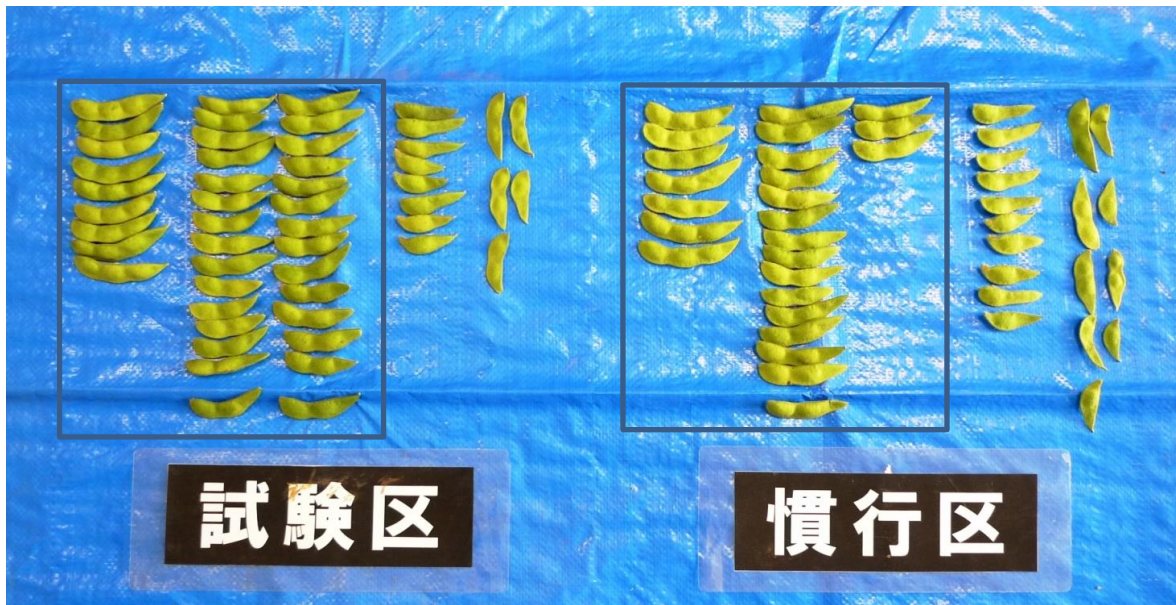
試験区(ネバリン施用) 7/21撮影



慣行区 7/21撮影



各区平均的な3株比較 7/21撮影



各区10株の平均的な株の上莢収量の比較 (7/21撮影)

試験区は左から3粒以上、2粒(2列)、1粒、不完全粒(縦並び)  
慣行区は左から3粒以上、2粒(2列)、1粒、不完全粒(縦並び)  
【青枠内が上莢】